

数学

同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

<全体分析>

試験時間	75 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

〔Ⅰ〕は空所補充式、〔Ⅱ〕、〔Ⅲ〕は記述式。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

空所補充式の〔Ⅰ〕が昨年の2題から3題になった分、分量・質ともに問題が解きやすくなった。

その他トピックス

なし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔Ⅰ〕 (1)	複素数と方程式	数学Ⅱ	3次方程式の共役解、解と係数の関係を利用する。	標準
(2)	数と式	数学Ⅰ	対称式を変形し式の値を求める。	標準
(3)	三角比	数学Ⅰ	円に内接する四角形の性質、余弦定理、正弦定理、面積公式を用いる。	やや易
〔Ⅱ〕	数列	数学Ⅱ 数学B	漸化式から一般項を求める。常用対数を用いて不等式を変形する。与えられた対数の範囲を用いて、不等式を満たす最小の自然数 n を考える。	標準
〔Ⅲ〕	微分法・積分法	数学Ⅱ	条件から2次関数を求める。曲線と線分で囲まれた部分の面積を求める。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

空所補充式である〔Ⅰ〕は、昨年と比べ典型的な問題の出題であったが、計算分量が多い年や内容が難しい年もあるので、教科書の章末問題が難なく解けるように対策をしておきたい。記述式である〔Ⅱ〕〔Ⅲ〕では例年、根拠となる部分がしっかり問われる問題が出題されている。答案が式の羅列にならないよう、文章や式による答えに至るプロセスの表現方法を教科書や模範解答を参考に研究してほしい。